

地域・家庭・学校が一体となった教育活動**敦賀市立赤崎小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	0 回
地域及び家庭への学校公開	11 回 (のべ) 11 日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	12 人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	35 人
登下校支援ボランティア	32 人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

(1) 活動名 学校行事「ふれあい活動」

(2) 活動内容

地域の方を学校にお招きして交流することを通して、コミュニケーション能力を育て、豊かな心を育てることをねらい、「ふれあい活動」を実践した。主な内容は「さんだわらづくり」と「おやつ会食」である。

①さんだわらづくり

さんだわらとは、8月15日に行われる灯ろう流しで使う灯ろうの台座のことであり、わらを巧みに編んで作るものである。本校では、10年以上も続けている伝統的と言ってもよい取組である。

5月25日(水)の午後、赤崎・田結・鞠山の老人会の方々をお招きして、全児童と一緒にさんだわらを作った。「地域の方とたくさんお話をしよう。」を目標にして、積極的に交流を深めるように指導した。特に1年生ははじめてだったので、講師の方から手取り足取りで教わった。6年生が「今まででいちばん会話ができた。」と言っていた言葉が印象的だった。



5月31日(火)にも、3年以上の児童と老人会の方々でさんだわらを作った。2回の実施で200個以上のさんだわらが完成した。

②おやつ会食

5月25日の「さんだわらづくり」の後、児童と老人会の方々が集まって会食した。簡単なおやつを食べながら会話したり、学年の発表を披露したりして、和気あいあいの雰囲気の中で交流を深めることができた。

成果と課題

- ・今年度の校内研究テーマ「コミュニケーション能力の向上」に関わる行事という意味合いからも、特に力を入れた取組であったが、どの児童もその子なりに交流ができていて、例年よりも会話が進んでいたことで、意義のある取組になった。
- ・さんだわら自体編み上げるのが難しいので、低学年の児童は上手に完成できない面がある。地域の方との交流を主眼においた指導に心がけたい。